

# 学位審査実施要項

(院生版)

I. 修士

II. 課程博士

III. 論文博士

付1. 中間報告会

付2. 公聴会（最終試験）

付3. 様式

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科

2026年4月1日

# INDEX

## I. 修士

1. 学位授与申請
  - 1-1.申請資格
  - 1-2.申請手続
  - 1-3.申請期限
2. 学位授与の審査
  - 2-1.学位審査委員会の設置
  - 2-2.学位審査委員会の任務
  - 2-3.審査期限
3. 学位授与の審議

## II. 課程博士

1. 学位授与申請
  - 1-1.申請資格
  - 1-2.申請手続
  - 1-3.申請期限
2. 学位授与の審査
  - 2-1.学位審査委員会の設置
  - 2-2.学位審査委員会の任務
  - 2-3.審査期限
3. 学位授与の審議
4. 学位論文内容の公表

## III. 論文博士

1. 学位授与申請
  - 1-1.申請資格
  - 1-2.申請手続
  - 1-3.審査料
  - 1-4.申請期限
2. 学位授与の審査
  - 2-1.学位審査委員会の設置及び学力確認担当委員の決定
  - 2-2.学位審査委員会の任務
  - 2-3.学力確認担当委員の任務
  - 2-4.審査期限
3. 学位授与の審議
4. 学位論文内容の公表

(付. 中間報告会, 公聴会, 様式)

○大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

○学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書

※大阪公立大学 HP「[学位\(博士\)を取得される方へ](#)」参照

URL : <https://www.omu.ac.jp/research/promotion/doctor/>

---

註) 本文書において特に指定がない場合は以下のように略記します。

リハビリテーション学研究科 → 研究科

リハビリテーション学研究科長 → 研究科長

リハビリテーション学研究科教授会 → 教授会

リハビリテーション学研究科教務担当(事務部門) → 教務担当

註2) 本文書に記載の金額, 料金については変更されることがあります。

## I. 修士（学位規程第4条第1項）

### 1. 学位授与申請

#### 1-1. 申請資格

修士の学位授与を申請することができる者の資格は、以下の資格1または資格2のとおりとする。

##### 資格1

博士前期課程に在学中で、学位論文の審査の終了までに在学期間が2年以上経過し、所要の授業科目について所定の単位を修得する見込みのある者。

##### 資格2

博士前期課程に在学中で、学位論文の審査の終了までに在学期間が1年以上経過し、優れた研究業績をあげ、所要の授業科目について所定の単位を修得する見込みで、教授会において特例として在学期間の短縮が認められた者。

##### 資格3

博士前期課程に在学中の5年一貫プログラム利用者であり、在学期間が1年経過するまでに、査読のある学術雑誌\*に筆頭著者として論文1編以上が掲載されるなどの優れた研究業績をあげ、所要の授業科目について所定の単位を修得する見込みのある者。

査読のある学術雑誌\*：Impact Factorを有する雑誌，Medline 収載雑誌，日本学術会議協力学術研究団体が刊行する学術雑誌，全国的な学術研究団体が刊行する学術雑誌

#### 1-2. 申請手続

申請者は指導教員の承認を得て、次の書類を教務担当を経て研究科長に提出する。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ① 学位授与申請書（様式6）   | 1通                 |
| ② 学位論文           | 電子データ（PDF）         |
| ③ 論文内容要旨（様式7）    | 電子データ（Word）        |
| ④ 履歴書（様式8-1）     | 電子データ（PDF）         |
| ⑤ 参考論文の別刷りまたはコピー | 電子データ（PDF）（ある場合のみ） |

注）⑤参考論文：自身が公表した論文（受理を含む）のうち、修士論文に直接関連のあるもの。

注）電子データの提出方法については別途指示する。

#### 1-3. 申請期限

申請期限は、修了を希望する時期により以下のとおりとする。但し、学事歴によって数日前後することがあり、その場合は十分な時間的余裕を持って周知する。

- 1) 3月に修了を希望する場合  
学位授与申請書類一式：1月20日
- 2) 9月に修了を希望する場合  
学位授与申請書類一式：7月20日

## 2. 学位授与の審査

### 2-1. 学位審査委員会の設置

研究科長は学位授与の申請を受理したとき、教授会において、次のとおり学位審査委員会を設置する。

- 1) 申請者の指導教員は、学位授与の申請と同時に論文審査委員候補申請書を（様式12）を研究科長に提出する。
- 2) 研究科長は、教授会の開催以前に論文審査委員候補申請書を教授会構成員全員に配布する。

- 3) 教授会は、前記配布書類に基づき研究科の教授3名を論文審査委員として選任する。なお、教授会において特に認めるときは、研究科教員の中から1名に限り准教授または講師を審査委員に充てることできる。
- 4) 教授会において必要があると認めるときは、3)に定める審査委員のほかに、次の各号に掲げる者を外部委員として加えることができる。外部委員を加える経費は指導教員が負担する。
  - (1) 当研究科の准教授及び講師
  - (2) 他の研究科の教授
  - (3) 他の大学院の教授
  - (4) 研究所等の教員等
- 5) 審査委員会の主査は、教授会で審議の上、当研究科から選出された審査委員のうちから決定する。

## 2-2. 学位審査委員会の任務

学位審査委員会の主たる任務は次のとおりとする。

- 1) 審査委員会は個別審査および公聴会により審査を行う。
  - (1) 個別審査（学位論文審査）

論文内容について面接により説明を求めることとし、必要があるときは、申請者に資料を提出させることができる。
  - (2) 公聴会（最終試験）

原則として当研究科教員全員の出席のもとで開催し、申請者は学位論文を中心に関連ある内容について、口述発表と質疑応答により審査を受ける。  
公聴会に審査委員が欠席の場合、出席した審査委員が評価する。
- 2) 公聴会終了後、必要に応じて主査、副査及び全教授からなる研究科教員会議において、発表内容について意見交換を行う。
- 3) 主査は審査委員の意見を取りまとめ、論文審査及び最終試験結果報告書（様式13）を作成し、研究科長に報告する（電子データで提出）。

## 2-3. 審査期限

審査期限は、3月に修了を希望する者の審査は3月修了判定教授会の10日前まで、9月に修了を希望する者については9月修了判定教授会の10日前までを目処とする。

## 3. 学位授与の審議

学位授与の審議は、教授会において次の方法により行う。

- 1) 研究科長は、教授会の開催以前に論文内容要旨、履歴書、論文審査及び最終試験結果報告書を教授会構成員全員に配布する。
- 2) 学位授与の審議は、教授会構成員の2/3以上の出席を必要とし、次の手順により行う。
  - (1) 学位論文の要旨、学位論文審査結果の要旨、最終試験結果の要旨及び審査委員会の所見について、事前に配付された論文審査及び最終試験結果報告書に基づき審議を行う。
  - (2) 学位授与の可否を教授会構成員の記名投票により議決する。
  - (3) 学位を授与することの議決は、教授である出席者の2/3以上の賛成を必要とする。

## Ⅱ. 課程博士（学位規程第3条第2項）

### 1. 学位授与申請

#### 1-1. 申請資格

博士の学位授与を申請することができる者は、以下の資格要件のいずれかを満たし、かつ、提出要件を満たしているものとする。

##### 1) 資格要件

###### 資格 1

博士後期課程に在学中で、学位論文の審査の終了までに在学期間が3年以上経過し、所要の授業科目について所定の単位を修得する見込みのある者。

###### 資格 2

博士前期課程を修了し、博士後期課程に在学中で、学位論文の審査の終了までに在学期間が2年以上経過し、優れた研究業績をあげ、所要の授業科目について所定の単位を修得する見込みであり、教授会において特例として学位授与の申請が認められた者。

###### 資格 3

博士後期課程に3年以上（長期履修者においては4年以上）在学し、所定の単位を修得して退学した者のうち、退学後1年以内に学位論文の審査が終了する見込みであり、教授会において学位論文の提出が認められた者。

##### 2) 提出要件

博士論文審査を申請しようとする論文が「国際論文又はそれに準じる論文」として学術雑誌に掲載またはアクセプトされていること。掲載雑誌および学位論文の要件は別に定める。当該論文の別刷をもって博士論文とする。

なお、複数の関連研究を取りまとめて博士論文とすることも可とする。複数の掲載論文を取りまとめる場合は1編の博士論文を作成することを必須とする。

#### 1-2. 申請手続

##### 1) 申請書類

申請者は指導教員の承認を得て、次の書類等を研究科長に提出する。

- |   |             |
|---|-------------|
| ① 学位授与申請書（様式6）  | 1通          |
| ② 学位論文  | 電子データ（PDF）  |
| ③ 学位論文要旨（様式7）   | 電子データ（Word） |
| ④ 履歴書（様式8-2）  | 電子データ（PDF）  |
| ⑤ 論文目録（様式9）   | 電子データ（Word） |
| ⑥ 学位論文の公表の取扱要領に定める「大阪公立大学学術情報リポジトリ <sup>*1</sup> への博士論文登録申請書」 | 1通          |
| ⑦ 同要領に定める「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」                            | 1通          |
| ⑧ 掲載論文の別刷りまたはコピー  | 電子データ（PDF）  |

注) 電子データの提出方法については別途指示する。

注) ⑦は学位論文全文を学術情報リポジトリへの登録が不可の場合のみ提出する。

注) ⑧は提出要件（イ）の場合および複数研究を取りまとめて学位論文とする場合に提出する。

注) 資格3により申請する場合は3月修了とし、在籍時の指導教員の承認を得て提出する。在籍時の指導教員が離籍している場合は、学位申請書類提出期限の1ヶ月前（前月同日）までに学位申請にかかる推薦教員選任依頼書（論文博士等）（様式14）を提出

<sup>\*1</sup> 大阪公立大学が提供するリポジトリ（<https://omu.repo.nii.ac.jp/>）。  
名称およびURLは変更されることがあります。

する。研究科長は審査委員として相応しい教員を推薦教員として選任し、教務担当を通じて申請者に通知する。すべての手続きにおいて指導教員を推薦教員に読み替える。

### 1-3. 申請期限

申請期限は、修了を希望する時期により以下のとおりとする。但し、学事歴によって数日前後することがあり、その場合は十分な時間的余裕を持って周知する。

- 1) 3月に修了を希望する場合  
学位授与申請書類一式：1月20日
- 2) 9月に修了を希望する場合  
学位授与申請書類一式：7月20日

## 2. 学位授与の審査

### 2-1. 学位審査委員会の設置

研究科長は学位授与の申請を受理したとき、教授会において、次のとおり学位論文審査委員会を設置する。

- 1) 申請者の指導教員は、学位授与の申請と同時に論文審査委員候補申請書を（様式12）を研究科長に提出する。
- 2) 研究科長は、教授会の開催以前に論文審査委員候補申請書を教授会構成員全員に配布する。
- 3) 教授会は、前記配布書類に基づき研究科の教授3名を論文審査委員として選任する。なお、教授会において特に認めるときは、研究科教員の中から1名に限り准教授を審査委員に充てることができる。
- 4) 教授会において必要があると認めるときは、3)に定める審査委員のほかに、次の各号に掲げる者を外部委員として加えることができる。外部委員を加える経費は指導教員が負担する。
  - (1) 当研究科の准教授及び講師
  - (2) 他の研究科の教授
  - (3) 他の大学院の教授
  - (4) 研究所等の教員等
- 5) 審査委員会の主査は、当研究科から選出された審査委員のうちから決定する。

### 2-2. 学位審査委員会の任務

学位論文審査委員会の主たる任務は次のとおりとする。

- 1) 審査委員会は個別審査および公聴会により審査を行う。
  - (1) 個別審査（学位論文審査）  
論文内容について面接により説明を求めることとし、必要があるときは、申請者に資料を提出させることができる。
  - (2) 公聴会（最終試験）  
原則として当研究科教員全員の出席のもとで開催し、申請者は学位論文を中心に関連ある内容について、口述発表と質疑応答により審査を受ける。  
公聴会に審査委員が欠席の場合、出席した審査委員が評価する。
- 2) 公聴会終了後、必要に応じて主査、副査及び全教授からなる研究科教員会議において、発表内容について意見交換を行う。
- 3) 主査は審査委員の意見をとりまとめ、論文審査及び最終試験結果報告書（様式13）を作成し、研究科長に報告する（電子データで提出）。

### 2-3. 審査期限

審査期限は、3月に修了を希望する者の審査は3月修了判定教授会の10日前まで、9月に修了を希望する者については9月修了判定教授会の10日前までを目処とする。

### 3. 学位授与の審議

学位授与の審議は、教授会において次の方法により行う。

- 1) 研究科長は、教授会の開催以前に論文内容要旨、履歴書、論文目録、論文審査及び最終試験結果報告書を教授会構成員全員に配布する。
- 2) 学位授与の審議は、教授会構成員の2/3以上の出席を必要とし、次の手順により行う。
  - (1) 学位論文の要旨、学位論文審査結果の要旨、最終試験結果の要旨及び審査委員会の所見について、事前に配付された論文審査及び最終試験結果報告書に基づき審議を行う。
  - (2) 学位授与の可否を教授会構成員の記名投票により議決する。
  - (3) 学位を授与することの議決は、教授である出席者の2/3以上の賛成を必要とする。

### 4. 学位論文内容の公表

学位論文審査に合格した博士論文は、「学位論文の公表に関する取扱要領（以下「取扱要領」）」に基づき、学術情報リポジトリに公表しなければなりません。

ただし、取扱要領第7条に定める学位論文を公表しないやむを得ない事由があるときは、取扱要領第4条に定める手続きを速やかに行うこと。

※ 「[取扱要領](#)」ならびに「[学位\(博士\)を取得される方へ](#)」を必ず参照し手続きを行うこと。

#### 1) 電子ファイル等の提出

取扱要領第3条の規定に基づき、学位論文全文を電子ファイルにして、「大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書」（以下「登録申請書」）とともに、別途定める期日までに教務担当に提出する。リポジトリ登録について共著者の許諾を事前に得ておくこと。

#### 2) 電子ファイルの規格等

- (1) 電子ファイルの形式は、PDFとする。
- (2) PDF化したファイルを確認し、文字化け、ページ設定の異常などが無いかを確認しておくこと。

#### 3) 公表しない場合の手続

- (1) 取扱要領第4条の規定に基づき申し出を行い、教授会等において公表しないことが認められた場合は、学長から「学位論文全文に代えて要約を公表することの承認通知書」の交付を受け、登録申請書とともに学位論文全文（冊子）2部と学位論文の要約（論文内容要旨も可）及び全文の電子データを提出する。
- (2) やむを得ない事由が解消したときは、学位論文全文を速やかにリポジトリで公表する。なお、要約公表期間の目安を超過した者について、毎年同一の時期に確認メールを送付し、個別確認作業を行う。5年目以降は、本人または指導教員から返信が無い場合、自動的に預かった全文データへの切り替えを進める。指導教員が離籍し、本人から返信がない場合も同様とする。

### Ⅲ. 論文博士（学位規程第3条第3項）

#### 1. 学位授与申請

##### 1-1. 申請資格

論文博士の学位授与を申請することができる者は、以下の資格要件のいずれかを満たし、かつ、提出要件を満たしているものとする。

##### 1) 資格要件

###### 資格 1

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得して退学したのち、1年以上が経過した者

###### 資格 2

大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科博士後期課程（臨床支援系領域または生活機能・社会参加支援系領域）に3年以上在学し、所定の単位を修得して退学したのち、1年以上が経過した者

##### 2) 提出要件

課程博士に同じ。

##### 1-2. 申請手続

##### 1) 申請は以下の順序のとおり行う。

###### (1) 申請資格の確認、推薦教員の選任依頼

申請者は、学位申請に係る推薦教員選任依頼書(論文博士等)(様式14)および論文博士資格審査申請書(様式15)を10月に提出する。

教務担当は上記1) 資格要件を確認したのち、研究科長に提出する。

申請者の研究科在籍時の研究指導教員が在籍している場合は、当該教員が推薦教員となる。研究指導教員が離籍している場合は、研究科長は審査委員として相応しい教員を推薦教員として選任し、教務担当を通じて申請者に通知する。申請者は推薦教員に連絡を取り、以後の手続きを進める。

###### (2) 提出要件の確認

推薦教員は上記2) 提出要件の確認を行い、論文博士申請資格審査結果通知書(様式17)を作成し、教務担当を通じて申請者に渡す。

###### (3) 申請書類の提出、博士論文審査手数料の支払い

申請者は論文博士申請資格審査結果通知書(様式16)とともに次項の申請書類を教務担当に提出し、所定の博士論文審査手数料を支払う。

###### (4) 外国語(英語)試験の受験

研究科は外国語(英語)試験により学力を確認する。

###### (5) 審査委員会の設置(後述)

##### 2) 申請書類

申請者は推薦教員の承認を得て、次の書類等を研究科長に提出する。

- |   |             |
|---|-------------|
| ① 学位授与申請書(論文博士)(様式17)   | 1通          |
| ② 学位論文  | 電子データ(PDF)  |
| ③ 学位論文要旨(様式7)   | 電子データ(Word) |
| ④ 履歴書(様式8-2)  | 電子データ(PDF)  |
| ⑤ 論文目録(様式9)   | 電子データ(Word) |
| ⑥ 学位論文の公表の取扱要領に定める「大阪公立大学学術情報リポジトリ <sup>*1</sup> への博士学位論文登録申請書」 | 1通          |
| ⑦ 同要領に定める「学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書」                              | 1通          |

注) ②学位論文は両面印刷し、ホチキスあるいはクリップ止めとする。

注) 電子データ (PDF, Word) は別途指示する方法で提出する。

注) ⑦は学位論文全文を学術情報リポジトリ\*1への登録が不可の場合のみ提出する。

注) ⑧は必要な場合のみ提出する。⑧の要否は別に定める。

### 1-3. 審査手数料

57,000 円

### 1-4. 申請期限

申請期限は以下のとおりとする。但し、学事歴によって数日前後することがあり、その場合は十分な時間的余裕を持って周知する。

学位授与申請書類一式：1月20日

## 2. 学位授与の審査

### 2-1. 学位審査委員会の設置及び学力確認担当委員の決定

研究科長は学位授与の申請を受理したとき、教授会において、次のとおり学位論文審査委員会を設置する。学力確認担当委員は学位論文審査委員の互選により選任する。

- 1) 申請者の推薦教員は、学位授与の申請と同時に論文審査委員候補申請書（論文博士）（様式17）を研究科長に提出する。
- 2) 研究科長は、教授会の開催以前に論文内容要旨、履歴書、論文審査委員候補申請書を教授会構成員全員に配布する。
- 3) 教授会は、前記配布書類に基づき研究科の教授3名を論文審査委員として選任する。なお、教授会において特に認めるときは、研究指導教員の中から1名に限り准教授を審査委員に充てることができる。
- 4) 教授会において必要があると認めるときは、3)に定める審査委員のほかに、次の各号に掲げる者を外部委員として加えることができる。外部委員を加える経費は推薦教員が負担する。
  - (1) 当研究科の准教授及び講師
  - (2) 他の研究科の教授
  - (3) 他の大学院の教授
  - (4) 研究所等の教員等
- 5) 審査委員会の主査は、教授会で審議の上、当研究科から選出された教授または准教授のうちから決定する。

### 2-2. 学位審査委員会の任務

学位論文審査委員会の主たる任務は次のとおりとする。

- 1) 審査委員会は個別審査および公聴会により審査を行う。
  - (1) 個別審査（学位論文審査）

論文内容について面接により説明を求めることとし、必要があるときは、申請者に資料を提出させることができる。
  - (2) 公聴会（最終試験）

原則として当研究科教員全員の出席のもとで開催し、申請者は学位論文を中心に関連ある内容について、口述発表と質疑応答により審査を受ける。  
公聴会に審査委員が欠席の場合、出席した審査委員が評価する。
- 2) 公聴会終了後、必要に応じて主査、副査及び全教授からなる研究科教員会議において、発表内容について意見交換を行う。
- 3) 主査は審査委員の意見をとりまとめ、論文審査及び最終試験結果報告書（様式13）を作

成し、研究科長に報告する（電子データで提出）。

### 2-3. 学力確認担当委員の任務

学力確認担当委員は学位審査委員が兼務し、学位論文の関連分野に関する専門的知識等について、口頭または筆記試験等により学力の確認を行い、学力確認結果報告書（様式 19）を作成し研究科長に報告する。

なお、退学後 3 年以内に学位審査を受ける場合には外国語（英語）試験を免除する。この場合、「論文審査及び最終試験結果報告書」に学力確認の省略対象者であることを明記する。

### 2-3. 審査及び学力確認の期限

審査及び学力確認の期限は、3 月修了判定教授会の 10 日前までを目処とする。

## 3. 学位授与の審議

「Ⅱ. 課程博士 3. 学位授与の審議」に同じ。

## 4. 学位論文内容の公表

「Ⅱ. 課程博士 4. 学位論文内容の公表」に同じ。但し、文中の「指導教員」は「推薦教員」に読み替える。

### 附則

本要項は、2022 年 4 月 1 日より施行する。

2025 年 4 月 23 日改正し、同年度より施行する。

2026 年 4 月 1 日改正し、同年度より施行する。

# 付 1. 中間報告会

## 1. 中間報告の位置づけ

- 1) 中間報告合格を「特別研究」の単位取得要件とする。
- 2) 報告内容は、研究テーマに関する学術的背景や研究目的、学位論文完成までの研究計画の詳細、研究遂行状況、研究成果の公表計画等とする。
- 3) 報告書を含め発表内容について多方面からの評価を実施する。発表内容が不十分な場合には再発表を行う。
- 4) 中間報告会は、8月と2月に実施する。
- 5) 前期課程は1回、後期課程は2回の中間報告を行う。
- 6) 全ての報告は、修了を希望する月の6カ月前までに合格しなければならない。

## 2. 中間報告会申請書の提出

中間報告を行う場合は、下記の書類を教務担当へ提出する。

- ① 中間報告申請書（様式5・Wordファイル）
- ② 中間報告書（PDFファイル）
- ③ 中間報告要旨データ（A4版×1/2・600字程度のWordファイル）

注) ①～③の電子データはパスワードを設定し、教務担当宛に（CCに指導教員，主査，副査を加えて）メール添付で提出する。

2月に報告を希望する者は1月，8月に報告を希望する者は7月の本研究科が定める期日までに前記の申請書類を提出する。

## 3. 中間報告書の作成方法について

### (1) 形式

中間報告書はA4版横書き6頁以内とし、Wordを用いて作成すること。

- 「題目」：MSゴシック（英文の場合はArial）12ポイント
- 「氏名等」（領域名，氏名），「指導教員」：MS明朝 11ポイント
- 「本文」：MS明朝（英文の場合はTimes New Roman）11ポイント
- 「行数」：36行（文字数指定なし）
- 「余白」：上35mm，右30mm，左30mm，下30mm。
- 句読点は，。を使用する。
- 図（写真）・表には，それぞれアラビア数字で一連の通し番号（Fig.1，Table 1）とタイトルを付ける。本文中で引用する場合は，Fig.1，Table.1とする。
- 文献の記載は，リハビリテーション学研究科紀要「Rehabilitation Reports」の原稿執筆要領の通りとする（最新号を参照すること）。

### (2) 記載内容

冒頭にタイトルと指導教員名を記載した上で，適宜文献を引用しつつ記述する。項目は，緒言，計画・方法，結果及び考察，文献を基本とし，研究活動の進捗に応じて変更可能とする。

## 4. 発表方法について

- 発表はPCプレゼンテーションにより行う。
- 発表時間は1題当たり約20分（約8分間の質疑応答を含む）とする。

- 図表は見やすいものを作成すること。スライド枚数の制限はない。
- 発表中の PC 操作は，発表者が各自で行う。

#### 5.配布資料

- 当日の発表プログラムと中間報告要旨を当日の配布資料とする。
- 配布資料は研究科教務にて作成する。

#### 6.秘密保持誓約書

- 中間報告会に参加する者は「秘密保持誓約書（様式 20）」の提出が必要である。

## 付 2 . 公聴会（最終試験）

#### 1.本研究科における公聴会の位置づけ

学位審査の最終試験として実施する。

公聴会は 8 月と 2 月に開催する。

#### 2.発表方法について

- 発表は学位論文の内容について PC プレゼンテーションにより行う。
- 発表時間は 1 題当たり博士前期課程・博士後期課程とも約 25 分とし，約 10 分間の質疑応答を含む。
- 図表は見やすいものを作成すること。スライド枚数の制限はない。
- 発表中の PC 操作は，発表者が各自で行う。

#### 3.配布資料

- 当日の発表プログラムと論文内容要旨を当日の配布資料とする。
- 配布資料は研究科教務にて作成する。

#### 6.秘密保持誓約書

- 公聴会に参加する者は「秘密保持誓約書（様式 20）」の提出が必要である。

## 付 3 . 様式

様式 1	指導教員選任申請書（博士前期課程）
様式 2	指導教員選任申請書（博士後期課程）
様式 3	研究指導計画書
様式 4	研究指導報告書
様式 5	中間報告申請書
様式 6	学位授与申請書
様式 7	学位論文要旨
様式 8-1	履歴書・・・博士前期課程用
様式 8-2	履歴書・・・博士後期課程用
様式 9	論文目録
様式 10	中間報告評価表（教員用）
様式 11	中間報告最終評価表（教員用）
様式 12	論文審査委員候補申請書（教員用）
様式 13	論文審査及び最終試験結果報告書（教員用）
様式 14	学位申請に係る推薦教員選任依頼書（論文博士等）
様式 15	論文博士資格審査申請書
様式 16	論文博士資格審査結果通知書（教員用）
様式 17	論文審査委員候補申請書（論文博士）（教員用）
様式 18	学位授与申請書（論文博士）
様式 19	学力確認結果報告書（教員用）
様式 20-1	秘密保持誓約書（取りまとめ用）・・・署名必須，紙提出
様式 20-2	秘密保持誓約書（個人用）・・・署名必須，紙提出
様式第 1 号（第 4 条関係）	長期履修願・・・・・・・・署名必須，紙提出
様式第 2 号（第 7 条関係）	長期履修期間短縮願・・・署名必須，紙提出

リポジトリ関連・・・署名必須，紙提出（署名後スキャンして PDF 化し電子提出も可）

○大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書

○学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書

※様式は大阪公立大学 HP「[学位\(博士\)を取得される方へ](#)」参照

URL : <https://www.omu.ac.jp/research/promotion/doctor/>

※ 様式内の青字は記入例および注記であり，提出時には全て削除してください。

様式 1

年 月 日

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

リハビリテーション学研究科 博士前期課程

領 域 : \_\_\_\_\_ 領域 \_\_\_\_\_

学籍番号 : \_\_\_\_\_

氏 名 : \_\_\_\_\_

## 指導教員選任申請書

私は、大学院リハビリテーション学研究科（博士前期課程）において、下記の教員に研究指導を受けたいので申請します。

記

主指導教員名 \_\_\_\_\_

副指導教員名 \_\_\_\_\_

副指導教員名 \_\_\_\_\_

※主指導教員は必須。副指導教員は主指導教員と相談の上、選任する場合のみ記入。

様式2

年 月 日

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

リハビリテーション学研究科 博士後期課程

領 域 : \_\_\_\_\_ 領域 \_\_\_\_\_

学籍番号 : \_\_\_\_\_

氏 名 : \_\_\_\_\_

## 指導教員選任申請書

私は、大学院リハビリテーション学研究科（博士後期課程）において、下記の教員に研究指導を受けたいので申請します。

記

主指導教員名 \_\_\_\_\_

副指導教員名 \_\_\_\_\_

副指導教員名 \_\_\_\_\_

様式3

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科

研究指導計画書

年 月 日作成

学籍番号			ふりがな 学生氏名			
領域／課程	( ) 理学療法学領域 ( ) 作業療法学領域	( ) 博士前期課程 ( ) 博士後期課程	年次	年次	入学 年度	年度
研究題目						
(主) 指導教員：			副指導教員：			

○研究計画 (学生が記入) : (研究計画・方法, 学会発表, 論文作成等の計画を記載)

○研究指導計画 (指導教員が記入)

様式 4

大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科

研究指導報告書

年 月 日作成

学籍番号			ふりがな 学 生 氏 名			
領域／課程	( ) 理学療法学領域 ( ) 作業療法学領域	( ) 博士前期課程 ( ) 博士後期課程	年次	年次	入学 年度	年度
研究題目						
(主) 指導教員：			副指導教員：			

○研究指導報告 (研究指導計画書から異なった指導を行った場合はその内容を記載してください)

○研究業績等

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

リハビリテーション学研究科 博士 課程

領 域 : \_\_\_\_\_ 領域

学籍番号 : \_\_\_\_\_

氏 名 : \_\_\_\_\_

指導教員 : \_\_\_\_\_

## 中間報告申請書

私は、大学院リハビリテーション学研究科において、下記のとおり中間報告を行いたいの  
で申請します。

記

\_\_\_\_\_ 年度 \_\_\_\_\_ 月期

演題名 \_\_\_\_\_

指導教員指名副査（2名記載してください）

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

博士 課程 \_\_\_\_\_ 領域

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏 名：(記名押印) \_\_\_\_\_ 印

指導教員：(記名押印) \_\_\_\_\_ 印

## 学位授与申請書

大阪公立大学学位規程第 5 条の規定により，下記の書類を添えて申請します。

記

論文題目

---

### 【添付資料】

博士前期課程	博士後期課程
1. 学位論文 1 通	1. 学位論文 1通
2. 学位論文要旨 1 通	2. 学位論文要旨 1通
3. 履歴書 1 通	3. 履歴書 1通
4. 参考論文がある場合は 別刷りまたはコピー 各 1 通	4. 論文目録 1通
	5. 大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文 登録申請書 1 通
	6. 学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書 (必要があれば提出) 1 通
	7. 掲載論文の別刷りまたはコピー (必要があれば提出) 1 通

様式 7

報告番号	保 第 号	課程	リハビリテーション学研究科 博士 課程 領域
学 位 論 文 要 旨			
氏 名		学籍番号	
題 目			
<p>(掲載誌情報を記した後, 400 字~800 字程度で要旨を述べてください)</p>			

※ 題目が外国語のときは日本語訳をつけ, 外国語, 日本語の順に, 改行して列記すること。

※ 論文博士:「課程」欄に在籍時の大学院名・研究科名・課程・領域と単位修得退学年月日を記入する。

## 履 歴 書

報 告 番 号	保 第 号		
(ふりがな) 氏 名		性別	男・女
生 年 月 日	年 月 日		
本 籍			
現 住 所			
学 歴 (高等学校卒業以降について入学, 卒業等を記載)			
年月日	事 項		
職 歴			
年月日	事 項		
教育研究業績等			
著書, 学術論文, 演題等の名称	単著・共著 の別	発行 又は 発表年月日	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称
教育に対する貢献ならびに学会・社会における活動等			
年月日	事 項		
賞罰及び取得免許・学位等			
年月日	事 項		
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 _____</p>			

## 履 歴 書

報 告 番 号	保 第 号		
(ふりがな) 氏 名		性別	男・女
生 年 月 日	年 月 日		
本 籍			
現 住 所			
学 歴 (高等学校卒業以降について入学, 卒業等を記載)			
年月日	事 項		
	高等学校 卒業		
職 歴			
年月日	事 項		
教育に対する貢献ならびに学会・社会における活動等			
年月日	事 項		
賞罰及び取得免許・学位等			
年月日	事 項		
上記のとおり相違ありません。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">                     年 月 日                 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">                     氏 名 _____                 </div>			

## 論 文 目 録

氏 名 : \_\_\_\_\_.

### 1 論文等

論文名	掲載誌名 (巻号頁を書くこと)	発行年月 (西暦)	著者名／備考 (申請者名に下線を付すこと)
(学位論文) ◎ <u>The quick brown fox jumps over a lazy dog.</u> (素早い茶色の狐が怠け者の犬を飛び越える)  (参考論文等)	Arch Phys Occu, 12(3): 45-67. (IF:1.22, Medline: 収載あり)	2022.12	<u>○○○○</u> , ○○○○, ○○ ○○, ○○○○

- 1 学位論文を最初に記載し、冒頭に◎を付記する。
- 2 論文題目が外国語のときは日本語訳を ( ) で付記する。
- 3 **Impact factor** を有する雑誌か, **Medline** 収載雑誌か, その他の雑誌かが分かるように掲載誌名欄に記載する。

### 2 学会報告等

演題名	発表学会名 (開催回を書くこと)	発表年月 (西暦)	発表者名／備考 (申請者名に下線を付すこと)

※在学中の研究業績を記入すること。業績数に応じてページを追加してください。



### 中間報告最終評価表

主査 \_\_\_\_\_.

領域 課程	理学療法学・作業療法学 前期・後期	学籍番号： 氏 名：
演題		
評価	合格	再発表

領域 課程	理学療法学・作業療法学 前期・後期	学籍番号： 氏 名：
演題		
評価	合格	再発表

領域 課程	理学療法学・作業療法学 前期・後期	学籍番号： 氏 名：
演題		
評価	合格	再発表

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

指導教員：\_\_\_\_\_

## 論文審査委員候補申請書

下記により論文審査委員候補を申請します。

記

博士 \_\_\_\_\_ 課程 \_\_\_\_\_ 領域 \_\_\_\_\_

学生氏名：\_\_\_\_\_

論文題目

\_\_\_\_\_  
(英文タイトル)

審査委員候補者 (3名)

主査 : \_\_\_\_\_

副査 : \_\_\_\_\_

副査 : \_\_\_\_\_

論文審査及び最終試験結果報告書

リハビリテーション学研究科 博士 課程 領域					
報告番号	保 第 号	第 1 次 審 査 年 月 日	年	月	日
		第 2 次 審 査 年 月 日	年	月	日
氏名		論文題目			
結果について					
<p>&lt;注記&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 1 ページに収めてください。</li> <li>※ 論文博士の場合は、表の 1 行目を「リハビリテーション学研究科 ○○領域 論文博士」としてしてください。</li> <li>※ 単位修得退学後 3 年以内の論文博士申請者で、学力の確認を省略する場合は「学力確認の省略対象者」であることを明記してください。</li> </ul>					
決定（該当を○で囲む。）			合	否	
主 査		氏 名	:		
副 査		氏 名	:		
副 査		氏 名	:		

年 月 日

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長様

学位申請に係る推薦教員選任依頼書(論文博士等)

在籍時の大学院名・研究科名・課程・領域

---

---

単位修得退学日： 年 月 日

氏 名： \_\_\_\_\_

学位授与申請にあたり、推薦教員を選任くださいますようお願いいたします。

以上

年 月 日

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

氏 名 : \_\_\_\_\_ 印

### 論文博士資格審査申請書

大阪公立大学学位規程第3条第3項の規定による博士の学位（論文博士）の審査申請のため、学位申請資格の審査を受けたいので、下記書類を添えて資格審査を申請します。

記

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. 履歴書（様式8-2） | 1 通 |
| 2. 成績証明書      | 1 通 |

年 月 日

様

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科

### 論文博士申請資格審査結果通知書

年 月 日付けで申請のありました学位申請資格審査の判定結果については、下記のとおりです。

記

判定結果 : 適 ・ 不適

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

推薦教員：\_\_\_\_\_

### 論文審査委員候補申請書（論文博士）

下記により論文審査委員候補を申請します。

記

<申請者>

大阪 大学大学院 研究科  
博士後期課程 領域  
単位修得退学： 年 月 日

氏 名：\_\_\_\_\_

論文題目

\_\_\_\_\_

(英文タイトル)

\_\_\_\_\_

審査委員候補者（3名）

主査：\_\_\_\_\_

副査：\_\_\_\_\_

副査：\_\_\_\_\_

大阪公立大学学長 様

申請者： \_\_\_\_\_ 印

## 学位授与申請書（論文博士）

大阪公立大学学位規程第 5 条第 3 項の規定により下記の書類を添えて申請します

記

申請学位 : 博士（保健学）

リハビリテーション学研究科

論文題目

---

### 【添付資料】

- |                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 学位論文                               | 1部および電子データ（PDF） |
| 2. 学位論文要旨                             | 電子データ（Word）     |
| 3. 履歴書                                | 電子データ（PDF）      |
| 4. 論文目録                               | 電子データ（Word）     |
| 5. 大阪公立大学学術情報リポジトリへの博士学位論文登録申請書       | 1 通             |
| 6. 学位論文全文に代えて要約を公表することの申立書（必要がある場合のみ） | 1 通             |

大阪公立大学大学院  
リハビリテーション学研究科長 様

学力確認担当者（◎は代表者）
◎ 教授
教授
教授

### 学力確認結果報告書

氏名 \_\_\_\_\_

#### 1. 学力確認試験結果の要旨

試験科目	試験年月日	合 ・ 否

#### 2. 学力確認担当者の所見

(例) 上記の試験結果から申請者が十分な学力を有していることを確認した。



様式 20-2

総合リハビリテーション学研究科長 様  
リハビリテーション学研究科長 様

## 秘密保持誓約

大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科及び大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科における学位論文審査会並びに公聴会（最終試験）及び中間報告会に参加するに際し、私は、以下の事項が公開特許公報またはその他の方法で公知される前においては、当該事項を第三者に開示、提供または漏洩しないことを誓約いたします。

1. 発表資料において秘密であることを明示された内容
2. その他発表者から秘密であることを特定された内容

※当該事項には、次の各号に掲げるものは含まないこととする。

- ①本発表会において知得した際、既に自己が保有していたことを証明できる情報
- ②本発表会において知得した際、既に公知となっている情報
- ③発表会において知得した後、自己の責によらずに公知となった情報
- ④本発表会において知得した情報によることなく独自に開発・取得していたことを証明できる情報

### 記

1. 開催日：
2. 開催場所：
3. 所属：
4. 学生番号：
5. 氏名（フルネーム）：

様式第 1 号（第 4 条関係）

長期履修願

年 月 日

大阪公立大学長様

学部・学域・研究科

学籍番号（受験番号）

氏名

私は、大阪公立大学長期履修規程第 4 条の規定により、下記のとおり長期履修を  
願います。

記

入学年月日	年 月 日
申請期間	年 月 日 から 年 月 日まで
長期履修理由	
履修計画	
指導教員所見	指導教員署名

以上

長期履修期間短縮願

年 月 日

大阪公立大学長様

学部・学域・研究科

学籍番号（受験番号）

氏名

私は、大阪公立大学長期履修規程第 7 条の規定により、下記のとおり長期履修期間の短縮を願います。

記

入学年月日	年 月 日
現在の長期履修期間	年 月 日 から 年 月 日まで
短縮後の長期履修期間	年 月 日 から 年 月 日まで
短縮理由	
履修計画	
指導教員所見	指導教員署名

以上